

令和7年5月9日

# 總務文教委員会

阿久根市議会



1 会議名 総務文教委員会

2 日時

- (1) 期日 令和7年5月9日（金）
- (2) 開会 午後1時38分
- (3) 散会 午後3時32分

3 場所 第1委員会室

4 出席委員

川原慎一 委員長  
竹之内和満 副委員長  
大田基次 委員  
大野雅子 委員  
白石純一 委員  
木下孝行 委員  
牟田学 委員

5 欠席委員

なし

6 職務のために出席した議会事務局職員

上脇重樹 次長兼議事係長

7 会議に付した事件

- (1) 委員長の互選
- (2) 副委員長の互選
- (3) 広報広聴委員会委員の選出
- (4) 北薩広域行政事務組合議会議員の選出
- (5) 阿久根地区消防組合議会議員の選出
- (6) 議会運営委員会委員の選出
- (7) 所管事務調査について

8 議事の経過概要 別紙のとおり



# 総務文教委員会 令和7年5月9日（金）午後1時38分開会

## 審査の経過概要

### ◎ 委員長の互選

牟田学議長

ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

委員を指名してから初めての委員会であり、委員長及び副委員長がともにないので、委員会条例第10条第1項の規定により、委員長の互選を行っていただきます。

委員長互選のときの委員長の職務は、同条第2項の規定により、年長委員が行うことになりますので、大田基次委員に委員長互選の職務を行っていただきます。

大田委員は委員長席へお願ひいたします。

それではよろしくお願ひいたします。

〔牟田学議長は委員席、大田基次委員は委員長席に着席〕

大田基次委員

それでは、委員長が互選されるまで、委員長の職務を行います。

ただいまから委員長の互選を行います。

ここで、委員長の互選について、投票、指名推選のいずれにより行うかをお諮りします。

木下孝行委員

指名推薦でお願いします。

大田基次委員

指名推選、ほかには。

白石純一委員

立候補もできる、していいんですか。

〔発言する者あり〕

大田基次委員

指名か投票だから、できないそうです。

〔「休憩を」と呼ぶ者あり〕

この際、暫時休憩に入ります。

（休憩 午後1時40分～午後1時41分）

大田基次委員

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

ほかにございませんか。

〔発言する者あり〕

指名推選でよろしいですか。

白石純一委員

投票で。

〔発言する者あり〕

大田基次委員

この際、暫時休憩に入ります。

(休憩 午後1時42分～午後1時43分)

**大田基次委員**

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。  
指名推選という声がありましたので、指名推選で。  
〔発言する者あり〕  
この際、暫時休憩します。

(休憩 午後1時43分～午後1時45分)

**大田基次委員**

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

**白石純一委員**

2人以上の名前が出ましたので、投票でお願いします。

**大田基次委員**

委員長の互選は投票により行います。

この投票は、会議規則第126条の規定によるほか、同規則第127条の規定により本会議の選挙の規定が準用されます。

この際、お諮りいたします。

会議規則第127条で準用される委員会室の閉鎖についての規定は、必要性が低いと思われますので準用しないこととしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決定しました。

ただいまから、書記が投票用紙を配付しますので、単記無記名で御記入をお願いします。

御記入が終わりましたら、順次投票をお願いします。

なお、この投票は、委員長の職務を行っている者にも投票権がありますので、念のため申し添えます。

ただいまの出席委員数は7名です。

投票用紙を配付させます。

〔投票用紙配付〕

投票用紙の配付漏れはございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

〔発言する者あり〕

異常なしと認めます。

それでは、書記に投票箱を持ち回らせますので、投票を願います。

〔投票〕

投票漏れはございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]  
投票漏れなしと認めます。  
投票を終了します。  
開票を行います。  
立会人を牟田委員と木下委員にお願いします。

[開票]  
投票の結果を御報告いたします。  
投票総数7票。そのうち、有効投票7票、無効投票ゼロ票。  
有効投票中、川原委員4票、大野委員3票。  
以上のとおりです。  
この選挙の法定得票数は2票です。  
したがって、最多得票数の川原委員は法定得票数を満たしております。  
よって、川原委員が委員長に当選されました。  
川原委員は、委員長就任の御挨拶をお願いします。

### 川原慎一委員長

ただいま、委員長に選んでいただきました川原です。  
前の2年も一生懸命頑張ってまいりましたけども、これをいい経験として、この次の2年につないでいきたいというふうに考えておりますので、委員の皆さん方の御協力をお願いしながら、活発な御意見をいただきながら、いい委員会にしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

### 大田基次委員

ここで、委員長の職務を終わります。  
委員長の職務を川原委員長と交代いたします。  
委員長は委員長席に御着席をお願いします。

[大田基次委員は委員席、川原慎一委員は委員長席に着席]

## ◎ 副委員長の互選

### 川原慎一委員長

それでは、委員長の職務を行います。  
ただいまから副委員長の互選を行います。  
ここで副委員長の互選について、投票、指名推選のいずれにより行うかをお諮りします。

### 木下孝行委員

指名推選でお願いします。

### 川原慎一委員長

この際、暫時休憩します。

(休憩 午後1時53分～午後1時54分)

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

### 白石純一委員

2名以上の推薦の名前が挙がりましたので、投票でお願いします。

## 川原慎一委員長

副委員長の互選は、投票により行います。

この投票は、会議規則第126条の規定によるほか、同規則第127条の規定により、本会議の選挙の規定が準用されます。

この際、お諮りいたします。

会議規則第127条で準用される委員会室の閉鎖についての規定は、必要性が低いと思われますので、準用しないこととしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、そのように決定しました。

ただいまから、書記が投票用紙を配付しますので、単記無記名で御記入をお願いします。御記入は終わりましたら、順次投票をお願いします。

なお、この投票は、委員長にも投票権がありますので、念のために申し添えます。

ただいまの出席委員は7名です。

投票用紙を配付させます。

[投票用紙配付]

投票用紙の配付漏れはありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

[投票箱点検]

異常なしと認めます。

それでは、書記が投票箱を持ち回りますので、各委員投票を願います。

[投票]

投票漏れはありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

投票漏れなしと認めます。

投票を終了します。

開票を行います。

立会人に白石委員、大田委員を指名します。

両委員の立会いを願います。

[開票]

投票の結果を御報告いたします。

投票総数7票。これは先ほどの出席委員数に符合しています。

そのうち、有効投票7票、無効投票ゼロ票。

有効投票中、竹之内和満委員4票、大野雅子委員3票。

以上のとおりです。

この選挙の法定得票数は2票です。

したがって、最多得票数の竹之内委員は法定得票数を満たしています。

よって、竹之内委員が副委員長に当選されました。

竹之内委員は、副委員長就任の御挨拶をお願いします。

## 竹之内和満副委員長

副委員長ということで。

総務文教委員会は3回目になっています。

委員長を補佐し頑張ってまいりますので、よろしくお願いします。

## ◎ 広報広聴委員会委員の選出

### 川原慎一委員長

次に、広報広聴委員会の委員を選出します。

広報広聴委員については、委員会条例第2条第2項第4号の規定により定数は6人となっています。

広報広聴委員の選任は、委員会条例第8条第1項の規定により議長の指名によることとされていますが、議長が指名する者については、申合せにより総務文教委員会と産業厚生委員会から3名ずつ選出することとなっています。

したがって、本委員会から3名の委員を選出することとなります。

ここで、広報広聴委員の選出方法について、指名推選、投票のいずれにより行うかお諮りします。

### 木下孝行委員

指名推選でお願いします。

### 川原慎一委員長

暫時休憩入ります。

(休憩 午後2時1分～午後2時2分)

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

[発言する者あり]

ただいま、指名推選との声がありました。

[発言する者あり]

暫時休憩します。

(休憩 午後2時3分～午後2時7分)

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

ただいま、指名推選との声がありましたので、選出方法については、指名推選によることに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、広報広聴委員の選出については、指名推選によることに決しました。

広報広聴委員の選出の指名は、委員長において行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、委員長において指名することに決しました。

それでは、広報広聴委員に大野委員、竹之内委員、私川原を指名します。

ただいま指名した大野委員、竹之内委員、私を広報広聴委員として選出することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、大野委員、竹之内委員、川原委員が広報広聴委員に選出されました。

## ◎ 北薩広域行政事務組合議会議員の選出

### 川原慎一委員長

次に、北薩広域行政事務組合議会議員を選出します。

同組合議会議員については、北薩広域行政事務組合規約第5条第1項の規定により、本市議会から3人を選挙することになっております。

この3人の選挙については、慣例により、総務文教委員会から1名、産業厚生委員会から2名を選出した上で、本会議において指名推選することとなっています。

したがって、ただいまから、本委員会から選出する1名を選出します。

ここで、同組合議会議員の選出方法について、指名推選、投票のいずれにより行うかをお諮りします。

### 牟田学委員

指名推選でお願いします。

### 大田基次委員

私も、指名推選でお願いしたいと思います。

[発言する者あり]

### 川原慎一委員長

この際、暫時休憩します。

(休憩 午後2時9分～午後2時14分)

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

ただいま、指名推選との声がありましたので、選出の方法については指名推選によることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、北薩広域行政事務組合議会議員の選出については、指名推選によることに決しました。

北薩広域行政事務組合議会議員の選出の指名は委員長において行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、委員長において指名することに決しました。

それでは、北薩広域行政事務組合議会議員に木下委員を指名します。

ただいま指名した木下委員を北薩広域行政事務組合議会議員として選出することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、木下委員が北薩広域行政事務組合議会議員に選出されました。

## ◎ 阿久根地区消防組合議会議員の選出

### 川原慎一委員長

次に、阿久根地区消防組合議会議員を選出します。

同組合議会議員については、同組合規約第5条第1項及び第6条第1項の規定並びに同組合の慣例により、本市議会から3人を選出することになっております。

この3人の選出については、本市議会の慣例により、総務文教委員会から2名、産業厚生委員会から1名を選出した上で、本会議において指名推薦することとなっております。

したがって、ただいまから本委員会から選出する2名を選出します。

ここで、同組合議会議員の選出方法について、指名推選、投票のいずれにより行うかをお諮りします。

### 木下孝行委員

指名推選でお願いします。

### 川原慎一委員長

いいですか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

この際、暫時休憩します。

(休憩 午後2時17分～午後2時20分)

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

ただいま、指名推選との声がありましたので、選出方法については、指名推選によることに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、阿久根地区消防組合議会議員の選出については、指名推選によることに決しました。

阿久根地区消防組合議会議員の選出の指名は、委員長において行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、委員長において指名することに決しました。

それでは、阿久根地区消防組合議員に大野委員、川原委員を指名します。

ただいま指名した大野委員、川原委員を阿久根地区消防組合議会議員として選出することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。

よって、大野委員、川原委員が阿久根地区消防組合議会議員に選出されました。

ここで、全員協議会、予算委員会、広報広聴委員会が開催されるため、一旦委員会を中断します。

なお、広報広聴委員会の後、再開します。

この際、暫時休憩します。

(休憩 午後2時21分～午後3時23分)

## ◎ 議会運営委員会委員の選出

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

議会運営委員会の委員を選出します。

議会運営委員会の定数は、委員会条例第4条第2項の規定により、6人となっています。

また、議会運営委員の選任は、委員会条例第8条第1項の規定により議長の指名によることとなっていますが、議長が指名する者については、申合せにより常任委員会の委員長4名、具体的に申し上げますと、総務文教、産業厚生、予算、広報広聴の委員長を充て職とするほか、総務文教委員会と産業厚生委員会から1名ずつを選出することとなっています。

したがって、常任委員長となられた委員以外の委員の中から1名を選出します。

ここで、議会運営委員の選出方法について、指名推選、投票のいずれにより行うかをお諮りいたします。

### 牟田学委員

指名推選でお願いします。

### 川原慎一委員長

この際、暫時休憩します。

(休憩 午後3時24分～午後3時26分)

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

議会運営委員の選出は。

[発言する者あり]

暫時休憩入ります。

(休憩 午後3時26分～午後3時26分)

### 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

### 大野雅子委員

投票でお願いします。

## 川原慎一委員長

議会運営委員の選出は投票により行います。

なお、この投票は慣例による選出のためのものですので、会議規則第126条、第127条の規定は適用されません。

ただいまから、書記が投票用紙を配付しますので、単記無記名で御記入をお願いします。  
御記入が終わりましたら、順次投票を願います。

ただいまの出席委員数は7名です。

投票用紙を配付させます。

[投票用紙配付]

投票用紙の配付漏れはありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

[投票箱点検]

[「改めました」と呼ぶ者あり]

異常なしと認めます。

それでは、書記が投票箱を持ち回りますので、各委員投票をお願いします。

[投票]

投票漏れはありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

投票漏れなしと認めます。

投票を終了します。

開票を行います。

これ立会人は。

[上脇議会事務局次長兼議事係長「任意の選出なので立会人はなしです」と呼ぶ]  
暫時休憩に入ります。

(休憩 午後3時28分～午後3時28分)

## 川原慎一委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。

開票を行います。

[開票]

投票の結果を御報告いたします。

投票総数7票。これは先ほどの出席委員数に符合しています。

そのうち、有効投票7票、無効投票ゼロ票。

有効投票中、木下委員4票、白石委員3票。

以上のとおりです。

したがって、最多得票数の木下委員が議会運営委員に選出されました。

## ◎ 所管事務調査について

### 川原慎一委員長

次に、所管事務調査を議題とします。

本委員会の所管は、委員会条例第2条第2項第1号に規定されているとおり、議会事務局、総務課、財政課、企画推進課、税務課、ただし、国民健康保険税、介護保険料及び後期高齢医療保険料に関する事項を除きます。市民課、ただし、国民健康保険及び後期高齢者医療に関する事項を除きます。会計課、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に関する事項並びにほかの常任委員会の所管に属さない事項です。

調査事項については、次回の委員会において各委員から御提案いただいた上で協議したいと考えておりますので、各委員におかれましては、それまでに御提案の準備をお願いします。

調査において、視察を行う場合、場所によっては視察時期が限定されるなど、調査に制約が出てくることも考えられますので、調査事項については、可能な限り、次回の委員会で決定したいと思います。

以上で本日の総務文教委員会を散会します。

(散会 午後3時32分)

総務文教委員会委員長 川原慎一